

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

①産業教育・意識啓発

事業	対象	目的	内容(例)
●中学生から大学生までの起業家教育の推進	●教員 ●学生・生徒 ●起業家 ●行政	●地域振興にとって企業活動がいかに重要であることを認識する ●産業側に任せるのではなく、周辺環境を整える	●(経営者からの講演、模擬起業体験、インターンシップ)(中学生には講演中心、高校生・大学生には模擬企業体験・インターンシップ)
	●学生・生徒 ●教師 ●ベンチャー起業家	●将来、自分の進む道の一つに起業という選択肢を与える ●自らリスクをとり、問題解決できる能力を養う	●(経営者からの講演、模擬起業体験、インターンシップ)(中学生には講演中心、高校生・大学生には模擬企業体験・インターンシップ) ●ボードゲームを活用した講習会
			●高校生・大学生の企業クラブの設置
	●中高大学生	●勤労意欲の大切さを教える ●人間の能力の開発と喜び	●教育者の資質、指導力向上セミナー開催
	●小・中・高・大学生と親	●若者がモノづくりに対して興味・関心を持つようにする	●(経営者からの講演、模擬起業体験、インターンシップ)(中学生には講演中心、高校生・大学生には模擬企業体験・インターンシップ)
	●中学生から大学生まで学校教育のなかにありまだ社会に出てない層の人	●学校教育終了後の進路として起業家への意欲と発進ができるように	●(経営者からの講演、模擬起業体験、インターンシップ)(中学生には講演中心、高校生・大学生には模擬企業体験・インターンシップ)

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

①産業教育・意識啓発

事業	対象	目的	内容(例)
●女性起業家の啓蒙支援	●OL ●専業主婦 ●大学・専門学校生	●男女参画社会の実現 ●女性の潜在能力の活用 ●女性の忍耐力、感性、サービス精神、子育て経験、介護経験、家事労働経験、清掃、防犯、環境保全等)	●福祉関連産業(高齢者介護、業員看護) ●教育関連産業(保育、学習塾) ●飲食関連産業 ●家事サービス(ベビーシッターなど) ●建築設計(主婦の立場から)
	●子育てが終わった主婦層 ●20代女性	●チャンスはある、という気づきを与える ●自らリスクをとり、問題解決できる能力を養う	●同じ立場ですでに起業している方の講演、研修等 ●専門誌等の発刊
			●女性が主に消費している分野(下着や化粧品、ファッション、飲食業など)の女性社長の講演会の開催
	●女性	●少子化による労働力不足 ●男女共同参画社会を目指す	●起業家支援の講習会、講演会の開催 ●支援をしていく適切な関係団体の設置 ●起業家大学創設、各種コンクール
	●子育てを終えた助成 ●企業に関心をもつグループ	●女性の視点で社会の活性化を図る	●企業に対しての知識・ノウハウ支援 ●資金援助、奨励金制度
	●体力、知力、能力に恵まれながら埋もれている女性	●女性ならではの感性と発想を生かしたベンチャー企業の支援	●宇都宮の特産だけを使用した全国発送の大型総茶店やオリジナルレストランなど 1

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

①産業教育・意識啓発

事業	対象	目的	内容(例)
●シニア層の起業啓蒙支援	●40代以降の男性 ●35歳以降の女性 ●定年直前の男女 ●派遣社員 ●期間工	●企業の寿命は30年 ●グローバル化による産業空洞化への対応 ●大型店対策 ●福祉コストの縮減 ●高齢者の精神的自立	●経験を生かした管理業務 ●熟練技能を活かした後継者育成 ●機械器具を活用した軽作業 ●防犯を目的とした環境保全 ●孫育て産業への参加
	●定年退職者 ●子育てが終わった主婦層	●スキルやノウハウを活かしビジネスをしつつ、次の世代に伝える	●同じ立場ですでに起業している方の講演、研修等 ●養成学校の開校等
			●企業退職者への起業支援の促進
	●定年退職者 ●中高年	●労働力不足解消 ●生きがいの発見 ●技術・知識の次世代継承	●人材等力で呼びかけていく ●特技を発掘し、発表できる場を設け、企業に結びつける ●市の広報誌に掲示
	●シニアの企業志望者	●シニアがもっている知識・技術を活かして社会活動を活性化 する	●同じ目的・技術をもっている仲間のネットワーク化 ●起業活動支援 ●資金援助、奨励金制度
	●団塊世代の大量定年によるキャリア・意欲のある人材	●次世代への受け継ぎの希望がもてるベンチャー企業立上げ	●長年培ってきた技術を活かす企業やショップ

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

② 起業のための環境整備

事業	対象	目的	内容(例)
● 起業の芽出し	<ul style="list-style-type: none"> ● 35歳を目途とした男性社員 ● グラスシーリング(実力があ りながら昇進できない)下の女 性 ● 個性が強く、大組織になじま ない人 ● ベンチャー精神の強い人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業活性化には新旧企業交代は不 可欠である ● 業暦の長い企業派経験主義、前例 主義に陥り、必然的に保守化する ● 大型合併の寡占化に対抗する企業 群が必要である ● 経済はリスクに挑戦しなければ存続 できない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業実績を、帰郷の格付け基準に取り 入れる ● 失敗を最小限にするアドバイス機関を 作る ● ビジネスプランのチェック機関を作る ● 技術、マーケティング、人材管理、経理、 PRなどを総合的に診断する ● 産学連携を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生・生徒 ● 女性(20代・子育て終了世 代) ● シニア層(定年退職者・子育 て終了世代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの起業家を発掘するため 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンテスト、起業家大賞 ● アイデアオークション ● 他県からのベンチャー企業誘致
			<ul style="list-style-type: none"> ● 起業を考えている人が気軽に相談でき る窓口を作る
	<ul style="list-style-type: none"> ● 意欲のある人間 	<ul style="list-style-type: none"> ● 啓蒙する事により人間の本質的 な?の喜びを醸成していく 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種イベントへ挑戦させる工夫 ● 体験学習(農業、園芸、果樹、花木等) ● 経営革新塾(商工会議所)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性、高齢社葬 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業をする上では起業意欲、アイデ ア、資金、人材等が必要。これへの支 援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業を奨励する上での発表会、交流・ 交換会を開催する ● 入賞者に対して賞金を出す
	<ul style="list-style-type: none"> ● 大量定年の団塊世代の人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若年労働力不足を一時的にサポー トして受入れ口とする 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンテスト、起業家大賞

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

② 起業のための環境整備

事業	対象	目的	内容(例)
●起業ファンドの形成(離陸支援)	●既存起業(分社化)、販売先、仕入先、技術提携先、銀行、公設試験場、行政等創業支援機関、大学、商工会議所・商工会	<ul style="list-style-type: none"> ●創業期の脆弱な企業体力を、技術力、マーケティング力、管理力、社会的信用、金融などでバックアップしなければ新規開業開業企業派離陸できない ●ハード面ではインキュベータを多様に整備する ●失敗してもそれを許容する社会を作る ●企業家精神のないところに活力はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●出資(成功払い) ●機械設備(貸与) ●販路の分与 ●仕入先の紹介 ●銀行借入の補償 ●技術指導(人材チェックor派遣) ●管理指導(人材チェックor派遣) ●経理指導(人材チェックor派遣) ●総務指導(人材チェックor派遣)
	<ul style="list-style-type: none"> ●地元金融機関 ●個人(エンジェル) 	<ul style="list-style-type: none"> ●起業希望者の経済支援 ●出資者の啓蒙、意識付け 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政、銀行、証券会社、個人による出資 ●出資者のリスクをおさえるための制度構築 ●ベンチャービジネスの研究会や出資のための勉強会の開催
			<ul style="list-style-type: none"> ●行政主体の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・起業に詳しい人を雇用し、行政が出資し専門家が投資の可否を判断 ●民間主体の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・行政は投資をしたい企業、個人を募り、又投資を受けたい起業家を募り引き合わせる場を作る
	●起業しようとしている人	●便利な資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ●家賃・地代の補助 ●長期で低利率な借入が出来るよう助成 ●各種融資制度の活用促進
	●青年、女性、高齢者	●起業家に対する支援	●出資者を募るための交流会の開催

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

③ 起業ネットワークの構築とモデル事業の実施

事業	対象	目的	内容(例)
●産学連携による新商品の研究開発	●起業 ●各種研究機関 ●大学 ●個人	●知的経営資源の社会的共有 ●すでに開発した経営資源の有効活用 ●未来産業の創出 ●地域振興 ●国際競争力の強化	●特許情報などの開示 ●ビジネス可能性の開示 ●失敗事例の開示 ●国際的な視野でのライバル調査 ●大組織適応型か小組織でも可能かの事前調査
	●大学 専門学校 ●民間企業	●情報共有による活性化 ●モデル事業の実施による起業予備軍への刺激 ●新たな雇用	●宇都宮の新名物(おみやげ)開発 ●学生の特許申請支援プログラム
			●企業が不足している技術、大学が持っている技術、情報を出し合える場を行政が仲介する
	●大学 ●企業 生産者	●新商品の研究開発により宇都宮ブランド商品を生み、まちづくり、活性化に寄与する	●県立高校でのラーメン研究開発 ●ロボットの研究開発(大学)
	●起業、発案者	企業者に対して支援を図ることにより、企業家が育成される	●定例的に産官学連携会議を開催
	●農産業者	●宇都宮特産の農産物の売込みを全国的に知名度を高める	●農産物加工品の研究開発と市場への参入

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

起業ネットワークの構築とモデル事業の実施

事業	対象	目的	内容(例)
●異業種交流会を通じたネットワークの形成・構築	●業界団体 ●行政の指導体制 ●行政の各種規制	●タテ割組織の見直し ●学際的、業際的活動の活発化 ●「規模の経済」から「範囲の経済」への転換	●地域内の各種経済団体の実態調査 ●地域外の団体の実態調査 ●連携可能性の調査 ●業種、地域を超えたリーダー創出 ●中央省庁の情報の活用 ●高名な政治家や研究者の活用
	●行政、大学、民間企業の従事者 ●学生やニート	●人脈の形成 ●情報交換による活性化促進	●交流イベントの実施 ●交流イベント企画のプランニングそのものを通じたネットワーク構築
			●交流する場を行政が提供する
	●各種事業者	●販路の拡大 ●経営基盤の強化 ●中心商店街の活性化 ●共同事業への窓口	●都市と農村の交流を図る事業として「市」の開催 ●産業フェスティバル開催 ●交流会を継続的に開催
	●起業を図ろうとする者 ●起業家	●起業家間の交流を図ることにより、相互の研究開発、アイデア創出につなげる	●交流会の開催、行政法人によるホスト局を起し、ネットワーク化

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

①ニート・フリーター対策、若年者就業促進

事業	対象	目的	内容(例)
●職業観の醸成	●今現在フリーター、ニートである若者	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事とは何かの再教育 ●人格形成の場としての起業 ●仕事のできない人物に、素晴らしい人生はありえない ●仕事を通じた社会貢献が生きがいにつながる ●知識社会における人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●マニュアルをマスターし、マニュアルを超える ●理念のないところに戦術はない ●もとめられるコーポレート・アイデンティティ(CI) ●情報開示と透明性(コーポレートガバナンス) ●コンプライアンス
	●今現在フリーター、ニートである若者 ●大学生、高校生	●責任ある社会人となるため	<ul style="list-style-type: none"> ●ニートが参加しやすいイベントを通じての研修 ●学校への定期訪問による講演会 ●脱ニートプログラムの作成 ●専門学校や大学に進学希望する者への奨学金制度
			●ニートの子を持つ親への啓蒙活動・指導
	●今現在フリーター、ニートである若者	<ul style="list-style-type: none"> ●市民であるという意識をもたせ、納税率を上げる ●働く喜びや大切さを教える 	●小中学校の教育現場で育てる工夫
		●技術等を身につけ、就労意欲を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●モノづくり講習会の開催 ●短期・長期体験講座の開催
	●今現在フリーター、ニートである若者	●フリーター、ニートである若者達に職業観と仕事をもつプライドを持たせる	●職業訓練所、職業安定所の設置とPR

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

①ニート・フリーター対策、若年者就業促進

事業	対象	目的	内容(例)
●就業支援		<ul style="list-style-type: none"> ●理論と現実の認識 ●利益者社会貢献の成果 ●責任型社会への対応(人材育成コストへの返礼) 	<ul style="list-style-type: none"> ●職業体験、職業案内、相談窓口 ●インターンシップの積極化 ●インターンシップ受入企業への財政支援 ●インターンシップ受入企業への社会的格付け ●インターンシップ効果の高い企業の表彰 ●送り出し側大学等の実績開示と表彰
	<ul style="list-style-type: none"> ●今現在フリーター、ニートである若者 ●大学生、高校生 	<ul style="list-style-type: none"> ●税込確保 ●社会的責任を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> ●職業体験、職業案内、相談窓口 ●民間人材紹介会社とのコラボレーション ●支度金制度の活用
			<ul style="list-style-type: none"> ●不足している技術、能力を身につけるための講習の受講補助
	●ニートの若者	●就業してもらう	<ul style="list-style-type: none"> ●ニートたちの交流の場を設け啓発する ●職場で意欲を持たせる工夫
	●フリーター、ニートである若者	●就業環境を整備する事により就業意欲を高める	●自己実現、誇りのもてる職場づくり

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

②女性の就業環境整備

事業	対象	目的	内容(例)
●育児環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化対策 ●女性の自己実現 	
	●民間企業(経営者)	●経営者への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ●育児中の女性採用企業への補助金支給 ●託児所設置企業への補助金支給
			<ul style="list-style-type: none"> ●保育園の充実 ●保育費の軽減 ●保育時間の延長
	●低年齢の子供がいる女性労働者	<ul style="list-style-type: none"> ●育児と仕事の両立 ●安心・安全な子育て ●少子化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●就業体制の工夫 ●育児休業制度 ●保育事業所の様々な取組みで支援(延長保育等) ●シニア層の援助体制(送迎、通院等)
	●子供をもつ父親・母親	●子育てを支援し、安心して働ける職場環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援ボランティア育成、高齢者等を対象とした放課後受入れ ●休暇を時間単位で取得できる制度 ●育児休暇
	●育児を終えた主婦層の人々を必要とする各職場に派遣する	●育児中の女性が安心して働けるようにする	●職場に保育園を設置する

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

②女性の就業環境整備

事業	対象	目的	内容(例)
●宇都宮版ワークシェアリングの推進	●身体障害者	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシェアリングは甘えの構造 ●イギリス病にならないような配慮が必要 ●身体障害者と健常者との共生 ●能力に応じた社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●身体障害者など、弱者に限定する ●ノーマライゼーション施設の整備 ●安全性確保と危機管理体制 ●弱者管理の体制整備(養護施設など) ●職場への安心できるアクセス(安全で低料金) ●通勤マイクロバス
	<ul style="list-style-type: none"> ●民間企業 ●パートタイマー 	●雇用機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ●宇都宮版ワークシェアリング採用企業への補助金支給 ●行政による無料(あるいは低額)託児所の運営
			<ul style="list-style-type: none"> ●パート勤務の待遇改善 ●正社員の勤務時間の弾力的な見直し
	●個人、企業	●子育てを支援し、親が安心して働ける就労体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事のチーム制 ●パーツ的な請負の出来る作業補助員の設置

重点課題5. 中心市街地空洞化への対応

① 魅力ある拠点づくり

事業	対象	目的	内容(例)
● 五感に働き掛ける仕掛けづくり(新しい魅力ある拠点づくり)		<ul style="list-style-type: none"> ●資本主義は基本的に弱肉強食だから、弱者に視座を定めた社会システム構築 ●高業化社会から、知識社会に移行したので、「もの」の品質より「こころ」が価値基準 ●サービスは、TPOで価値が決まるから、大量生産ができない ●「もの」にどのような「サービス」を付加するかが課題 ●ATMのような機械化と同時に「人的サービス」が注目されるようになる ●つまり「人間の顔が見える」経済を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ●リベラルアーツの再教育 ●仁、義など、儒教精神の再評価 ●「情けは人のためならず」教育の徹底 ●品格ある人材の育成 ●人的資源の暑い「宇都宮」のアピール ●暴力団、遊業の規制 ●文化産業の育成(教育都市も選択肢の一つ) ●注:新宿区と文京区のイメージの違い
	<ul style="list-style-type: none"> ●市内のお店、観光地、企業 ●市内在住の市民 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客を増員 ●宇都宮市の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロコミによるおいしいお店マップの作成 ●賑わいのある商店街通りをたくさん作る(まずはJR駅前に) ●駅前環境の美化、整備(ネオン看板のデザイン募集等)
			<ul style="list-style-type: none"> ●釜川沿いの店舗のファザードを大谷岩で統一するための補助をするなど、景観にすぐれた商業機能を集積した地区を作る
	<ul style="list-style-type: none"> ●来訪者 ●地元住民 ●観光客 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地活性化 ●交流人口増加による経済活性化 ●中小企業振興 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べる楽しみを提供(オープンカフェ) ●買物を楽しむ(フリーマーケット) ●体験型観光スポット ●観光する楽しさ(街かどギャラリー) ●やすらぎの街かど ●大型店郊外立地を規制し、行政は地権者にあらゆる可能性を提示。空き店舗の有効活用促進
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業、起業家、青年団体 ●女性、高齢者、農業者 	<ul style="list-style-type: none"> ●宇都宮市を魅力ある誇りのもてる街にするための階層整備計画 ●各階層間の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●若者が主催する若者を対象としたイベントの開催 ●オリオン通等の空き店舗を利用した定例的なフリーマーケット等 ●毎日イベント、展示会の開催 ●拠点整備 ○○プラザ等
●中心市街地	●活性化		●個性的な感性をもった店づくり、資格の癒し、ミニ美術館などの設置

重点課題5. 中心市街地空洞化への対応

②アクセス改善

事業	対象	目的	内容(例)
●駐車場と拠点のルート改善	●行政、都市計画、建設業者、運輸業者、企業・学校、観光業者、警察、消防	●利便性 ●低料金 ●安全性 ●都市景観	●都心部の駐車場を、防犯、防火、景観の視点で再編成する ●交通渋滞の深刻化が予想されるので、都心部への乗り入れ帰省を考える ●一人しか乗車していない乗用車を規制する ●トラックの排ガス規制の強化 ●自転車の活用と無料駐車場の設置 ●駐輪場の管理体制の見直し
	●中心部のお店 ●駐車場オーナー ●公共交通機関	●買い物客、観光客の増員 ●市内回遊の活性化	●おしゃれな散歩道をつくる(離れた駐車場からの誘導) ●駐車金額に差をつける ●中心部の一部に無料バスを走らせる
			●拠点の近くの未利用地を駐車場にするよう誘導する
	●来訪者 ●地元住民 ●身障者	●利用者の利便性を高める	●わかりやすい駐車場の案内工夫 ●低料金化とサービス(自転車貸し出し) ●ボランティアによる観光案内 ●駐車場内でのPR合戦(特種情報チラシ) ●駐車場に楽しいネーミングをつけ親近感を醸成する
	●中心市街地の市民、企業主	●拠点にスムーズに入れるようなルートづくり ●交通規制を行い(規制緩和し停車可とする)、自転車・歩行者優先のルートづくり	●遊歩道の整備 ●小回りのきく宮バスの細かいアクセスとルートづくり ●大通りの通行止め、日曜は青空歩道等一日車の通行を禁止する ●官公庁の駐車場解放(チケット制)
	●市街地へ来るまで出かける人	●駐車	●市中心部にある学校や役所の駐車場を無料で休日の日開放する